

自己評価結果（2019年度）

洗足学園中学校・洗足学園高等学校

1. 学校教育目標

- | |
|--|
| ①常に成長を目指し努力し続けられる人物（自立）
②世界で活躍できる能力を有した人物（挑戦）
③謙虚に自分を見つめ喜んで奉仕できる慈愛に満ちた人物（奉仕） |
|--|

2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自らを律し、他と協調し、他を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を持った生徒を育てる。 ・6年間を大人になるための準備期間として、責任ある市民として自己決定・自己判断ができるよう論理的に突き詰めて思考する力を育てる。 ・主体性を持って行動できる生徒を育て、学習面・生活面でも他律から自律へ切り替える。 |
|--|

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
学力形成 学習指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「学ぶとは覚えることではなく考えること」をテーマに、教科指導形式を「講義形式」から「対話形式」へと変革に取り組んだ。 ・グローバル社会への対応の一つとして、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの強化のため全学年でネイティブの授業を実施した。 ・PC やタブレット端末を用いて、教員・生徒双方向での教材・課題の配信・提出、各生徒の進捗状況管理、グループでの意見交換など様々な ICT を利用した教育を実施した。
人間形成 生活指導 各学年の取組 自治活動 学外活動	グローバル社会で必要とされるスキルを育むことを目的として、以下の取組を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の取組 中学1年 国際理解教育、HR 研修、中学2年 ボランティア、キャリアプログラム、グローバル・ビレッジ、中学3年 研究論文、修学旅行、高校1年 『進路から進学へ』、HR 研修、高校2年 『学校のリーダー』、修学旅行、と精神的な発達段階に合わせて活動した。 ・生徒の自治活動 生徒会・委員会・クラブ・体育祭・学園祭・合唱コンクールなど生徒が主体となって運営した。 ・学外活動（他流試合） 国内では、日本政策金融公庫が主催する「高校生ビジネスグラン

	<p>プリ」にて「準グランプリ」受賞、日本経済新聞社主催の「円・ドルダービー全国学生対抗戦」3位入賞の他、G20 Youth サミット等に参加、国外ではハーバード及びニューヨークでの「模擬国連」の他、イギリスで行われた「Tokyo Oxford Programme of Summer 2019」など数多くの学外での活動に参加した。</p>
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を定期的実施し、生徒の状況をより良く知ってもらい、学校の方針についての理解も深めてもらった。 ・学年通信を月1回程度発行し、連絡事項の徹底、生徒自らの言葉で語る行事報告など学校と家庭の結びつきを強めた。 ・ホームページにて、一般の方々にも学校のことを理解してもらえよう学習面・生活面について学校の紹介を行い、常に最新の情報をトピックスとして発信している。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校管理システムにより生徒の登下校の状況を把握し生徒の安全を図った。 ・災害時対応として年2回の避難訓練実施の他、東京・神奈川の私学による「避難校ネットワーク」にて登下校時の災害への対応をより充実したものとした。 ・年3回の施設点検実施により施設の保守を行い、安全管理を行うとともに快適な環境整備を実施した。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に分掌・学年・教科の各主任による「年度施策計画発表会」を実施。3月にはその総括として「年間総括発表会」を実施した。 ・新任教員6名に対し校長・管理職・校務主任・学年主任・担任を講師として年間にわたり新任教員研修を実施した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日（月）より生徒登校禁止としたため、本校主催の模擬国連「Japan Metropolitan Model UN 2020」をを始めとする様々な行事が中止となった。

4. 総合的な評価結果

2020年度大学入試制度改革に向けて、授業力を向上させることを目的に、より質の高い授業実践を目指した教員研修を実施した。また、ICT教育の更なる活用として、中学3年生・高校1年生で1人1台のノートPC「Chromebook」を所有してもらい、Google Classroomを利用して、クラウド上の「クラス」を使った授業を行ったり、教員と生徒との「連絡手段」としても活用している。また、人間形成の面でも震災ボランティアは継続的に実施しており、生徒会主催のチャリティ演奏会、洗足祭での震災被災地の写真展・東北物産展など、生徒の主体的な活動が充実してきた。

年度末は新型コロナウイルス感染拡大のため、生徒・教職員の感染防止対策を実施するとともに、新学期からの「学びの保障」に向けてICTを活用した遠隔授業など準備を進めた。